

# — 児 童 館 版 —

## 第三者評価結果報告書

### 江東区亀戸児童館

#### 【5段階評価の基準について】

- 5：全般的に極めて優れた状態にある  
(非常に高度な状態が実現されている場合を想定)
- 4：優れた状態にある  
(全般的に「適切な状態」以上であることに加え、一部に極めて優れたレベルのものがある)
- 3：適切な状態にある
- 2：一部不十分な状態にある  
(一部に重要な改善点があり、「適切な状態」とまでは言えない)
- 1：全般的に極めて不十分な状態にある

利用者調査	2020(令和2)年 9月28日～12月18日
自己評価(職員及び合議)	2020(令和2)年 9月28日～12月18日
訪問調査	2021(令和3)年 1月19日
評価報告日	2021(令和3)年 2月24日

評価機関  
株式会社川原経営総合センター

東京都品川区北品川4-7-35 御殿山トラストタワー 9階  
経営コンサルティング部門  
TEL 03(5422)7147  
評価者 田中 律子、金沢 幸藏

#### ■評価項目及び評点について

評価手法全般は、東京都福祉サービス第三者評価手法(平成16年度版)に準拠し、平成30年10月に改正された児童館ガイドラインを加味して評価項目を作成した。平成17年度児童館ガイドラインの基礎を作成した一般社団法人児童健全育成推進財団『児童館等の第三者評価についての調査研究』にて多くの児童館の評価を経験し、項目検討に参加したノウハウを生かし評価を実施した。評点は、客観性を担保するため、従来からの考課項目を用いて微調整を行うことで、当社の過去の同類型の評価実績をもとに定量データと定性データを加味して評価を行った。

少子高齢化が問題視される中、児童館(学童クラブ含む)の指定管理者制度が広まり、児童健全育成が民間企業に委ねられつつある。今後、子ども達の健全育成を支える中核としての施設に児童館が成長することを願うとともに、サービスの質の確保のため、第三者評価制度が普及することを期待したい。

## この事業所の特に良いと思う点 特に改善する必要があると思う点

特に良いと思う点	特に改善する必要があると思う点
<p>1. <b>クイズ付きおしぼりの作成や服のリサイクル活動など地域住民と一体となった子育て環境づくりに取り組んでいます。</b></p> <p>地域の食支援を行っている方々に協力しながら、子ども達が作成したクイズ付きのおしぼりを付けた弁当を年3回配布しています。また、服のリサイクル活動として、子どもの成長により不要となった服を児童館を仲介場所として、リサイクルできるように取り組んでいます。児童館の存在を多様な形で地域に伝え、地域住民と一体となった子育て環境づくりに取り組んでいます。</p>	<p><b>コロナ禍における多様な子ども達の利用を促す更なる工夫が期待されます。</b></p> <p>コロナ禍において、区の指導に準じ感染リスクを危惧して様々な企画を中止しています。できる範囲で装飾やツイッターでのクイズの紹介など工夫しながら取り組んでいます。今後、さらに子ども達の活動の幅が広げられるよう、多様な視点で幅広い工夫に積極的に行っていくことが期待されます。</p>
<p>2. <b>明るさとフレンドリーな声掛けにより来館者の安心感を与えています。</b></p> <p>来館者は誰もが、職員の明るくフレンドリーな声掛けで迎えられます。子ども達にとっても、乳幼児の保護者にとっても安心できる場として周知されています。今回の乳幼児の保護者のアンケートでも、コロナ禍で孤立しがちな状況において、安心して通える場所として高い評価を得ています。明るさとフレンドリーな声掛けにより来館者の安心感を与えています。</p>	<p><b>掲示物など子ども達の目線に立った工夫が期待されます。</b></p> <p>館内には職員や遊具の紹介、工作の工夫など各種情報を、対象者に応じてコーナー分けをして掲示しています。全体的に壁の上の方に掲示しているものが多い傾向があります。今後は、子ども達の目線でどのように見えるか考えながら、掲示の位置や大きさ、色合いなど相互確認のもと工夫していくことが期待されます。</p>
<p>3. <b>児童館ときっずクラブの職員が相互協力のもと運営しています。</b></p> <p>当児童館の中には、児童館ときっずクラブの2つの機能を有しています。来館の際の窓口となる受付業務は、担当業務に関わらず対応できることとしています。日々の行事の予約や実施予定などをミーティングで共有し、相互連携を図っています。行事の際にも担当決めにより連携を図り、職員からもチームワークの良さがあげられています。</p>	<p><b>子ども達の変化に気づく姿勢への更なる浸透が期待されます。</b></p> <p>子どもや保護者など来館者には明るくフレンドリーな対応を行っており、アットホームな雰囲気です。安心感が得られています。今後は、全職員が気軽な会話の中にも、子ども達の変化に気づき、必要に応じて、悩みを聞いたり、相談に応じられるような姿勢が浸透していくことが期待されます。日々の様子を共有し、子ども達の心境についてカンファレンスを開いたり、相談後のフォローができるような情報共有の仕組み整備などが期待されます。</p>

児童館(学童クラブ) 組織管理項目 評価結果

カテゴリー	サブカテゴリー	評価	評価結果
1. 理念・基本方針	(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	3	<p>・<b>明文化された事業基本理念や事業ブロックの目標を身近なものとする取り組みを行っています。</b>          職員の理念に対する理解を促すために、各種会議の際に確認するだけでなく、日頃の支援や職員指導を行う際にも理念と照らし合わせて指導を行うなど、各職員が理念や基本方針を身近なものとする仕組みづくりが行われています。</p> <p>・<b>来館者への事業基本理念を周知する取り組みを行っています。</b>          法人のホームページへの掲載だけでなく、入口受付部分にわかりやすく掲示するなど、誰の目にも入るような工夫をしています。</p> <p>・<b>事業理解を深めるための周知方法の改善に取り組んでいます。</b>          お便りの誌面作りは、利用者への伝え方や目を引くデザインなどを職員間で検討し、より理解を深める方法を模索し改善しています。乳幼児向けは、柔らかい色合いでほっとさせる印象に、小学生向けには、ふりがなを振ったり、企画紹介だけでなく、活動の様子を掲載したり、中高生向けは遊びを紹介したり、クイズを載せるなど、多様な層を持つ児童館の活動に興味を持ってもらえるよう工夫しています。きっずクラブでは、保護者に対しておやつや活動状況を伝えるお便りを発行しています。</p>
2. 経営状況の把握	(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	3	<p>・<b>地域の環境変化に合わせた、適切な対応をしています。</b>          地域の幼稚園生や小学生の居場所の選択肢が増える中、事業所内だけではなく関係する機関への情報提供や連携を行うことで、利用者数の増加に取り組んでいます。</p> <p>・<b>法人内で積極的に連携し、情報収集に努めています。</b>          亀戸児童館内部だけではなく、法人内の児童館同士やエリア内の事業所などで連絡会を定期的実施し、積極的に情報収集を行い経営環境の変化を的確にとらえています。</p> <p>・<b>利用状況の分析を行い、利用者の状況に合わせた対応をしています。</b>          各月の利用者総数や男女別の人数などを分析し、年代や性別によって参加しやすいイベントを企画し、幅広い利用者状況に合わせ対応しています。お便りの工夫やSNSを利用した広報活動などサービスを改善するだけでなく、来館のきっかけづくりにも工夫をしています。</p>

児童館(学童クラブ) 組織管理項目 評価結果

カテゴリー	サブカテゴリー	評価	評価結果
3. 事業計画の策定	(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。  (2) 事業計画が適切に策定されている。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人として明確な中長期的なビジョンを掲げています。 小学生の減少傾向などの課題をとらえ、法人内連携にとどまらず、地域との継続した関係構築を促進することで中長期的な事業継続を安定させるビジョンを掲げています。</li> <li>・法人のビジョンだけではなく、事業の特性や地域に合わせた中長期計画を策定しています。 法人が掲げている「地域連携」による事業展開というテーマをもとに、区内の子ども家庭支援センターや保育園との連携強化や、地域の関係機関と継続した関係構築などを計画し利用者にとって切れ目のないサービス提供ができるよう計画を策定しています。また、法人合同での自主事業の取組みとして支援が必要な家庭にマスクやベビーベッドなどを提供したり、高齢者と共に過ごす食事会などボランティア活動を行っています。</li> <li>・実効性の高い計画を策定しています。 各部門の担当者の意見をもとに事業計画を作成することで実効性の高い計画を策定しています。また、毎月の職員会議で事業計画の振り返りを行い達成状況を確認し、改善活動につなげています。しかし、今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種行事の中止などもあり、利用者数が減少しています。</li> </ul>
4. 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公的な資料や外部の発行物を有効活用し質の向上に努めています。 児童館ガイドラインや虐待防止マニュアルなどの公的な資料だけではなく、外部の発行物などを積極的に取り入れ、職員の手引きに記載し職員に児童館などの役割理解を促進し質の向上を行っています。</li> <li>・タイムリーに改善活動が行える仕組みづくりが行われています。 毎月の職員会議で課題への対応状況などの振り返りを行い、担当者だけではなく事業所全体で改善が行える仕組みを作っています。</li> <li>・企画の目的を再確認し、振り返る習慣が期待されます。 職員の手引きに、館内の部屋の目的や主要企画の目的などが記載されています。今後、日常活動や各事業の活動などを振り返る際、利用者に何を体験して欲しいのか、企画時点の目的に立ち返った、進め方や職員の関わり方、利用者の状態などを振り返ることが期待されます。</li> </ul>

児童館(学童クラブ) 組織管理項目 評価結果

カテゴリー	サブカテゴリー	評価	評価結果
5. 管理者の責任とリーダーシップ	(1) 管理者の責任が明確にされている。  (2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>館長を主軸とした組織運営が行われています。</b> 約15年間、亀戸児童館で働いている館長を主軸とした組織体系であるものの、館長からの指示を待つのではなく、各部門の担当者が責任をもって必要なことを考え館長へ提案できる体制構築が行われています。</li> <li>・<b>なお一層、多様な可能性を考慮した方針決定が期待されます。</b> 非常勤職員も含めた会議で、利用者状況や活動内容などを振り返っています。人事異動など、在籍の浅い職員が多い中、職員から多様な意見があげられ工夫を行っています。制約のあるコロナ禍において、やや内向きな傾向もあります。今後、今以上に職員一人ひとりの発案をいかしつつ、多様な可能性を考え、実施内容を決定していくことが期待されます。</li> <li>・<b>職員間の細やかな情報共有を行うことで柔軟な対応を心がけています。</b> 毎日の情報共有の他に月1回職員会議を実施し、情報共有を細やかにしています。また、各部門での役割分担を明確にし、部門間での情報共有を行っており、協力体制を築き、柔軟に対応しています。</li> </ul>
6. 福祉人材の確保・育成	(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。  (2) 職員の就業状況に配慮がなされている。  (3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。  (4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>法人として採用計画を整備し、計画的な育成を行っています。</b> 採用計画にもとづいて、人材確保を行い、かつ体系的な研修を行っています。採用時研修や勤続1年目から3年目までのブロックごとの研修、その他、階層別の研修などを体系的に計画し、専門性の強化に取り組んでいます。また、実習生を多く受入れ、将来の専門職の育成につなげています。</li> <li>・<b>積極的に外部研修に参加し、職員の質の向上に努めています。</b> 法人内の研修計画のほかに、人事考課制度に基づき職員一人ひとりの業務に対する行動評価や目標達成状況を把握しています。その他、外部の専門研修を学びの機会として、参加実績を研修履歴表に整理し、職員の質の向上を行っています。定期的な職員面談により、成長の機会や職員の定着を実践しています。</li> <li>・<b>全職員が専門性に対して統一した視点が持てるよう更なる強化が期待されます。</b> 明るくフレンドリーな対応、積極的な利用者との関わりなど全職員で統一した姿勢が確保されています。今後は、子ども達の心境理解や育てる姿勢など全職員が専門的な視点で考えられるよう更なる育成が期待されます。</li> </ul>

児童館(学童クラブ) 組織管理項目 評価結果

カテゴリー	サブカテゴリー	評価	評価結果
7. 運営の透明性の確保	(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	4	<p>・<b>透明性を確保するために、経営に関する情報公開を行っています。</b>          法人のホームページ上に、法人の事業基本理念から事業報告、財務状況など経営に関わる情報公開を適切に行い、透明性を確保しています。コスト管理に関しては、節電や節水や備品の管理などにより節約を行うとともに、繰り越し分の費用についても根拠が明確であり適切な財務管理を行っています。また、法人内で定期的に外部監査を実施し、法人事務局内で適切に会計処理を行っています。</p> <p>・<b>事業所独自のホームページを用意し、積極的に情報公開を行っています。</b>          法人のホームページ内に、亀戸児童館独自のホームページを作成しており、児童館やきつずクラブで行っている活動内容や年間プログラム、月間の定例プログラムとあわせて、毎月のお便りなどを掲載し、積極的に情報公開を行っています。</p> <p>・<b>リアルタイムなイベント情報も積極的に公開しています。</b>          ホームページでの情報公開だけではなく、ツイッターなどのSNSを活用して、写真や動画付きで活動内容を分かりやすく公開しています。また、「児童館クイズ」をツイッターで紹介し児童館に興味関心を向けてもらえる工夫を行っています。</p>
8. 地域との交流、地域貢献	<p>(1) 地域との関係が適切に確保されている。</p> <p>(2) 関係機関との連携が確保されている。</p> <p>(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。</p>	3	<p>・<b>地域との交流の機会を積極的に取り入れています。</b>          地域懇談会にて事業に関する情報公開をするだけでなく、地域の食支援活動に賛同しクイズを付けたおしぼりを配布するなど、職員だけではなく子ども達が地域と関わる機会を積極的に設けています。</p> <p>・<b>地域の高齢者施設などと継続的に連携を図っています。</b>          新型コロナウイルス感染症の関係で、外出する機会が少なくなっているものの、近隣にある高齢者のデイサービスなどにきつずクラブの子ども達が作成した切り絵などを送り、関係構築を継続しています。</p> <p>・<b>地域福祉向上のための取組みを積極的に実施しています。</b>          一般来館の利用者の状況を勘案しつつ、保育園の活動の場所としても児童館を提供しています。その他、乳幼児の保護者向けに地域の公園巡りができるよう企画を行い、子育て世代の地域活動が広げられるよう情報提供しています。また、子どもの新たな居場所を創設することを目的とした登録制の「かめっ子」を組織し、積極的に地域に対する取組みを行っています。</p>

児童館(学童クラブ) 組織管理項目 評価結果

カテゴリー	サブカテゴリー	評価	評価結果
9. 利用者本位の福祉サービス	(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。 (2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。 (3) 利用者満足の向上に努めている。 (4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 (5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	4	<p>・<b>子どもの意見を尊重した事業運営が行われています。</b>                      新たな玩具購入などの際に子ども会議を開催し、子ども達からの意見を聞く機会を設けています。また、子ども同士の遊びにルールが必要な場合は、職員だけで決めるのではなく、子ども達を中心にルールを決める機会を設けるなど工夫しています。</p> <p>・<b>フレンドリーな対応で要望苦情があげやすい雰囲気を作られています。</b>                      来館者には職員誰もがフレンドリーな対応で接しており、アットホームで安心できる環境を作っています。意見箱の設置や定期的なアンケートの実施などにより利用者ニーズを把握するとともに、苦情窓口をホームページなどで公開し、対応しています。今回のアンケートでも意見が挙げやすいことに対して利用者から高い評価を得ています。</p> <p>・<b>安心安全なサービス提供のために定期的な訓練を実施しています。</b>                      消防訓練・災害対策訓練実施計画書を作成し、定期的に避難訓練の実施を行っています。訓練は防犯対策も含めて行っています。近隣の小学校へ防災無線の体験に出向くなど地域の関係機関との連携を行っています。緊急対応は、職員の手引きに記載するとともに、すぐ対応できるよう事務所内に連絡先を大きく掲示しています。</p>
10 福祉サービスの質の確保	(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。 (2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。 (3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	3	<p>・<b>職員の手引きを活用してサービスの標準化を図っています。</b>                      職員には「亀戸児童館 職員の手引き」を配布しており法人の基本理念や事業目標、亀戸児童館の主な事業、職務分担表、職員の勤務など細かい点まで文書化しており、これをもとに標準的なサービス提供を行っています。</p> <p>・<b>日常の様子など細かく記録を行っています。</b>                      利用者の状況などは、細かくミーティングノートに記録しており全職員が勤務開始前に確認しています。また、毎日のミーティングなどの際に情報共有しています。今後、個別に配慮が必要な利用者の場合は、個別のノートを作成するなど経緯が把握できるよう情報の集約をすると、継続的な支援の目線の強化につながります。</p> <p>・<b>個人情報の取扱いに関して管理が徹底しています。</b>                      法人として個人情報保護規程を作成しており、その内容にもどづき点検シートや遅番チェックシートを作成し、日々管理を徹底しています。</p>

児童館 付加項目 評価結果

サブカテゴリー	評価項目	評価	評価結果
(1) 児童館の施設特性	<p>① 施設の基本特性が児童館の理念と目的に基づいて設定されている</p> <p>② 児童館の特性である、拠点性、多機能性、地域性を発揮している</p> <p>③ 子どもの権利を保障するための取組みが徹底されている</p>	3	<p>・<b>新児童館ガイドラインに基づき基本理念や運営方法を見直しています。</b>          新児童館ガイドラインや虐待防止マニュアルなどを職員会議で確認しています。全職員に配布している手引きに、児童館としての基本姿勢を示すとともに、各場面での職員の姿勢を明記し、具体的な関わり方を明確にしています。</p> <p>・<b>なお一層、利用者の心境や目線に立った考え方が期待されます。</b>          日常の関わり方では子ども達の意見を尊重したりする姿勢が浸透しているものの、掲示物など、子ども達の目線に配慮が十分に行き届いていない状況が一部に見受けられます。今後、今以上に子ども達の心境を考え、相互確認のうえ、工夫していくことが期待されます。</p> <p>・<b>コロナ禍の利用制限のため、特性を十分生かしきれていない状況にあります。</b>          区の指導に基づき、感染リスクを防ぐために、部屋ごとに利用定員を設けたり、区民のみの利用に制限して運営しています。その他、館内の食事を禁止し、感染リスク防止を徹底しています。当児童館の特徴として取り組んでいたグループ活動などが制限され、やや魅力を出し切れていない状況にあります。</p>
(2) 遊びによる子どもの育成	<p>① 子どもの発達の特徴や発達過程を理解し、一人ひとりの心身の状態を把握して子どもの育成を行っている</p> <p>② 子どもが自ら遊びを作り出したり遊びを選択したりできるようにしている</p> <p>③ 子ども同士が同年齢や異年齢の集団を形成して、様々な活動に自発的に取組めるように援助している</p>	3	<p>・<b>子ども達が自由に遊びができるよう工夫しています。</b>          単発の企画だけでなく、子ども達がいつでも工作に興味を持つよう、作り方を掲示しています。毎月の折り紙コーナーを設け、新しい折り紙の作り方を紹介するなど、遊びの幅を広げられるよう取り組んでいます。</p> <p>・<b>コロナ禍におけるグループ「かめっ子」など更なる遊びの工夫が期待されます。</b>          登録制の「かめっ子」活動は、毎月の活動を通して異年齢での協力やボランティア活動などを行っていましたが、感染リスクを危惧して今年度は活動を停止しています。既に新型コロナの影響は長期化しています。子ども達の成長にとって空白期間とならないよう、通常と異なる期間であるからこそ子ども達が発想豊かに遊べるよう遊びの工夫にチャレンジすることが期待されます。</p>
(3) 子どもの居場所の提供	<p>① 子どもが安全に安心して過ごせる居場所になるような環境づくりや援助を行っている</p> <p>② 中・高校生世代の利用に対する援助がある</p>	3	<p>・<b>多様な居場所を工夫し、子ども達が安心して過ごせる居場所作りを行っています。</b>          館内には、大勢で遊べる場所だけでなく、少し離れた場所でゆっくり過ごせる場所、また、設置された小さなテーブルで落ち着いて過ごせる場所など、限られた範囲で多様な場所を設定しています。子どもの年齢によって、折り紙がしやすいよう職員が椅子を用意するなど、細やかに関わっている様子が伺えました。</p> <p>・<b>亀を飼育したり、グリーンカーテンや植物のプランターを設置し自然に親しむ環境を保持しています。</b>          受付付近の大きな水槽で亀を飼育しており、子ども達が自然と触れ合う機会を設けています。その他、入り口付近の植物のプランターや、夏場のグリーンカーテンの設置など、自然環境への配慮を行っています。</p> <p>・<b>優先の時間や場所を設定することなどにより、中高生が日常的に利用しています。</b>          17時以降は集会室を中高生優先の場所としたり、毎月のお便りの発行やホームページで活動の様子を紹介するなど、中高生が自分の居場所として来館できるよう工夫しています。集会室だけでなく、1階で小学生と同じ空間で自由に過ごすことも多く、自然な関わりができています。</p>

児童館 付加項目 評価結果

サブカテゴリー	評価項目	評価	評価結果
(4) 子どもの意見の尊重	① 子どもの年齢及び発達に応じて子どもの意見を尊重している  ② 子どもの意見が運営や活動に反映されている	3	<p>・子ども達が要望をあげる機会を設け、意見を尊重した運営を行っています。                      ルールの変更時は、子ども達に意見を聞いたり、玩具の希望などを把握しながら対応しています。おもちゃの希望を伝えたら反映されるなど子ども達の自らの意見を率直に受け止めてくれる点が、当児童館の良さであるという意見が子ども達からあげられています。</p> <p>・コロナ禍においても更なる活性化のため、積極的な姿勢での工夫が期待されます。                      コロナ禍において、従来実施していた企画が中止を余儀なくされていることもあり、自由来館の子ども利用が少ない傾向にあります。様々な活動が制限されている中においても、感染症の状況を踏まえ、定員を設けたり、広い空間の利用、備品などの更新、個人遊びの工夫、時間差での関わり方など、子ども達が今どう過ごしているか把握しながら、なお一層積極的な姿勢で工夫していくことが期待されます。</p>
(5) 配慮を必要とする子どもへの対応	① 配慮を必要とする子どもへの対応を行っている  ② 子どもの活動の様子から必要があると判断した場合には、家庭と連絡を取って支援を行っている	3	<p>・日頃からの気づきの重要性を手引きに記載し、相談対応の仕組みを整備しています。                      職員の手引きに、職員として求める子ども達との関わり方を明記し、日頃の気づきが重要であることを明確にしています。毎月の会議やミーティングで行動が気になる子ども達の様子を共有し、必要に応じて、子ども家庭支援センターや保護者、学校などと連携しています。</p> <p>・子ども達との関わりを重視した姿勢に更なる支援の目線の強化が期待されます。                      子ども達との関わりを大切にす姿勢で全職員の共通認識が図れています。現在、人事異動などの関係もあり、当児童館の在籍の浅い職員が多い傾向にあります。日々活動している子ども達に対して、いつもと同じではなく、学校や地域でどんな活動してきたのか、変化を敏感に感じられるよう、今一度基本に立ち返って、一人ひとりの子どもの様子を話し合うことで、なお一層理解を深めていくことが期待されます。</p>
(6) 子育て支援の実施	① 保護者の子育て支援を行っている  ② 保護者と協力して乳幼児支援を行っている	3	<p>・子ども家庭支援センターや相談会など外部機関と連携した相談対応を行っています。                      同一法人の子ども家庭支援センターとの合同の子育てひろばを毎月実施したり、子ども達の身体測定や相談会を開催し、育児相談を行っています。その他、保護者の得意な点をいかし準備の段階から保護者と相談しながら進めて託児付きの工作企画を行うなど、保護者のリフレッシュの機会を設けています。</p> <p>・登録制から予約制で利用する形式に変更し、感染リスクに配慮した支援を行っています。                      従来月齢により登録制で行っていたグループ活動は、いつでも利用できる形式に変更しています。新型コロナウイルス感染症の影響で乳幼児室なども事前予約を前提としています。利用状況によって利用頻度を変えながら、利用しやすいよう工夫しています。</p> <p>・職員のフレンドリーな声掛けにより子育て中の保護者が安心できる場として利用しています。                      来館時に明るく迎えられる雰囲気は、孤立しがちな子育て中の保護者にとって安心できる場として、コロナ禍においても継続利用につながっています。アンケートにおいても全ての保護者から良い評価を得ています。</p>

児童館 付加項目 評価結果

サブカテゴリー	評価項目	評価	評価結果
(7) 地域の健全育成の環境づくり	① 地域の健全育成の環境づくりに取り組んでいる	3	<p>・<b>亀戸ラリー企画で近隣の子育て環境の周知を図っています。</b> 近隣の子育て施設を紹介する亀戸ラリーでは、今年度は、近隣公園についてのスタンプラリー企画を行っています。その他、クリスマスには、KOTO街かどアーティストの演奏会を開くなど、地域と関係を図っています。</p> <p>・<b>クイズ付きおしぼりの作成や子ども服のリサイクルなど地域と関わりながら子育て環境を作っています。</b> 子ども服のリサイクルを児童館内で交換できるように地域に働きかけたり、地域の食支援活動に協力し、年3回配達するお弁当に、子ども達と作成したクイズ付きのおしぼりを付けています。子ども達が地域とともに活動することで、地域と一体となった子育て環境づくりを行っています。</p>
(8) ボランティア等の育成と活動支援	① 子どもを含めたボランティア等の育成と活動支援を適切に行っている	3	<p>・<b>外出などの行事にボランティアとして中高生が参加しています。</b> 毎年の外出行事などに、以前利用していた子ども達が中高生や社会人になってもボランティアとして関わっています。今年度は、デイキャンプなど外出行事が中止となり、活動の機会が少なくなっています。関わりが途切れないような工夫が期待されます。</p> <p>・<b>エコキャップや古切手の回収などに地域住民の参加を促しています。</b> 入口付近にエコキャップや古切手の回収箱を設置し、利用している子ども達だけでなく地域の方にもエコキャップ運動などへの参加を促しています。また、お便りやホームページにエコキャップ運動を紹介しています。</p>
(9) 子どもの安全対策・衛生管理	① 子どもの安全対策・衛生管理を行っている	4	<p>・<b>感染対策に向けて作成した事業継続計画に基づき運営しています。</b> コロナ禍の事業継続のために、法人主導で事業継続計画を作成し、感染リスクに注意して事業運営を行っています。通常の地震災害などと異なる点を明確にし万一の発生時にも対応できるように心掛けています。</p> <p>・<b>子ども自身の活動の幅が広がるようバランスを考えて取り組んでいます。</b> 運動の際には、準備運動をしたり、子どもの運動能力によって、声の掛け方を変えながら参加を促すなど、活動の幅が広がるよう取り組んでいます。設備の点検を定期的に行い、ねじの緩みなどをヒヤリハットとして提示し、職員間で話し合いのうえ、マニュアルに追加するなど、活動と事故のバランスを考慮しつつ安全管理に取り組んでいます。</p>
(10) 学校・地域との連携	① 学校・地域との連携を行っている  ② 運営協議会等が設置され、機能している	3	<p>・<b>毎月のお便りの配布など近隣小学校の顔の見える関係作りを行っています。</b> 当児童館は、近隣の小学校の子どもが多く、毎月お便りを小学校に配布する際には、子ども達の様子などの情報交換を行っています。災害に対しても役割分担など毎年確認しています。今後、同じ子ども達を支える施設として災害時の訓練なども実施できることが期待されます。</p> <p>・<b>地域連絡会や法人内外の関係機関との各種会議を通して情報交換を行っています。</b> 法人内や他関係機関との多様な会議に参加し、地域と連携を図っています。例年、小学校や民生委員、保育園など関係機関を招いて児童館の事業への要望などを得ている地域連絡会は、今年度は書面で行っています。今後、情報交換の手段なども工夫しつつ更なる連携が期待されます。</p>

■参考 区の評価項目との関連性

区の項目	今回の該当する主な評価項目	
<p>i 事業運営</p> <p>(1) 施設運営に関する基本方針が明確である</p> <p>(2) 協定書、事業計画書に沿った事業運営がされている</p> <p>(3) 長期計画等、区の施策方針に沿った運営がされている</p> <p>(4) 緊急時対応マニュアルが整備されている</p> <p>(5) 個人情報保護が徹底されている</p>	<p>組織管理項目</p> <p>組織管理項目</p> <p>組織管理項目</p> <p>組織管理項目</p> <p>組織管理項目</p>	<p>1 理念・基本方針</p> <p>3 事業計画の策定</p> <p>3 事業計画の策定</p> <p>9 利用者本位の福祉サービス</p> <p>10 福祉サービスの質の確保</p>
<p>ii 施設管理</p> <p>(1) 衛生的な施設管理がされている</p> <p>(2) 防犯・防災対策(設備)がされている</p> <p>(3) 備品の適切な管理がされている</p> <p>(4) 自然環境への配慮、緑化の推進がされている</p> <p>(5) 社会的弱者への配慮がされている</p>	<p>児童館付加項目</p> <p>組織管理項目</p> <p>児童館付加項目</p> <p>児童館付加項目</p> <p>児童館付加項目</p>	<p>(9) 子どもの安全対策・衛生管理</p> <p>9 利用者本位の福祉サービス</p> <p>(9) 子どもの安全対策・衛生管理</p> <p>(3) 子どもの居場所の提供</p> <p>(5) 配慮を必要とする子どもへの対応</p>
<p>iii 利用者満足度</p> <p>(1) 区民に対する平等なサービス提供がなされている</p> <p>(2) 苦情・要望の把握・対応が適切である</p> <p>(3) アンケートの評価が良好である</p> <p>(4) 利用者数の目標が達成されている</p> <p>(5) 地域社会等との連携が良好である</p> <p>(6) 自主事業計画への取り組みがなされている</p>	<p>児童館付加項目</p> <p>組織管理項目</p> <p>アンケート集計結果参照</p> <p>組織管理項目</p> <p>組織管理項目</p> <p>組織管理項目</p>	<p>(4) 子どもの意見の尊重</p> <p>9 利用者本位の福祉サービス</p> <p>3 事業計画の策定</p> <p>8 地域との交流、地域貢献</p> <p>3 事業計画の策定</p>
<p>iv コスト管理</p> <p>(1) 適切な会計処理がなされている</p> <p>(2) 経費縮減への効果がある</p> <p>(3) 収支計画が達成されている</p> <p>(4) 財務診断結果</p>	<p>組織管理項目</p> <p>組織管理項目</p> <p>組織管理項目</p> <p>組織管理項目</p>	<p>7 運営の透明性の確保</p> <p>7 運営の透明性の確保</p> <p>7 運営の透明性の確保</p> <p>7 運営の透明性の確保</p>